|  |
| --- |
| ★お知らせ★  ①8月は~~6日~~、~~13日~~、~~20日~~、27日の4回、朝7時にホームページに教材をアップロードいたします。  ②最新情報は、You Tubeのチャンネル・HPで更新しています（生徒さんや保護者様への転送を歓迎いたします）  ★You Tubeチャンネル→ <https://www.youtube.com/channel/UCA8KtyK1ZTqxjAzXqJwwDbQ> ★ホームページは、こちら→　　<https://yuki-tsubaki-news.com/> |

2021年8月第4週【8/27発行】　小学生生教材　　“Permission to Dance”と国際手話　模解と指導の手引き

1. 教材はWordファイルでリリースします。不必要と思われる問題のカット（削除）、本文や設問のアレンジ、差し替え、加筆修正は自由です。先生方が授業で使いやすいように、お好きなように加工して下さい。

（２）「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい（逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい）」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。私の判断で、英語が良いと思った設問は英語に、日本語が良いと思った設問は日本語にしています。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。

（３）毎回、スペリングや文法ミスがないか、細心の注意を払っていますが、間違いに気付いたら、後からホームページに訂正版を出しています。申し訳ありません。もしスペルミスや文法ミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。

（４）全ての教材に、「この英文を暗唱しよう！」というページがあります。毎回、重要な文法や使える表現を含むキーセンテンス

３～５文を選んでいます。これは「夢タン」などの参考書の著者として著名な木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して

暗唱するのが上達の近道！」と教えていただいたことにより、8月から始めました。文を暗唱してから本文を読んでも、全文を読

んでから仕上げに英文暗唱しても、どちらでも良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

8月第3週　“Permission to Dance”と国際手話　　１ページ目　模範解答

Q1 (It got No.1) seven times. Q2 It got 110 million views.

Q3 🔴Permission to Dance 🔴踊るための許可

Q4　ED-Sheeran did. Q5 He is from the UK. Q6 “fun”, “dance” and “peace”

Q7 皆さんは今、コロナで大変な思いをしているかもしれません。どうか、楽しく自由にダンスを楽しんで下さい。踊るために許可などいらないのですから。

Q8　手話を知っている人は、クラスのみんなに紹介しましょう。

２ページ目

Q9　“Permission to Dance”の中で手話を使ったから　　　Q10　1.5 billion people do.

Q11 It can help them to enjoy music which can bring joy to life.

　　耳の聞こえない人たちが、(人生に喜びをもたらしてくれる)音楽を楽しむのを助けてくれる

指導の手引

BTSが新曲のダンスの中に国際手話を入れました。これは、世界の音楽を愛する人達に向かって

「私達は、耳の聞こえない人達のことを忘れていません。耳の聞こえない人達も音楽を楽しんでくれますように。彼らの幸せを祈っています！」というメッセージを伝えているのだと思います。

先週、中学生と高校生の教材で「メンタリストDaiGoさん、『ホームレスの人々の命はどうでもいい』の発言で謝罪」というニュースを勉強しました。社会的弱者に対して、思いやりのない発言をしてしまったメンタリストDaiGoさんと対象的に、BTSは、障害を持っている人達に対する思いやりの心を表明したのだと思います。

皆さんの周りにも、障害を持っている人達がいるでしょう。8月24日からパラリンピックが始まりました。

パラリンピックで輝かしい活躍をしている、障害者のアスリート達もたくさんいます。

一方では、聴覚障害者は、パラリンピックに参加できない規定になっていることを、ニュースを読んで私は初めて知りました。

英語を勉強して、海外の文化に興味を持つことは大切なことですが、

海外、国内に限らず、自分の身の回りのいろんな分野に興味を持つこと、

それに対する自分の意見を持って、英語で発信していくことが、とても大切です。

この機会に、パラリンピックで活躍しているアスリート達について知ったり、

手話を勉強したり、周りの障害を持つ方々とお話をするなどの行動をして、

自分の世界を広げていきましょう。

★ニュース執筆にあたって参考にしたウェブサイト

<https://mb.com.ph/2021/07/13/who-praises-bts-for-use-of-sign-language-in-permission-to-dance-mv/>